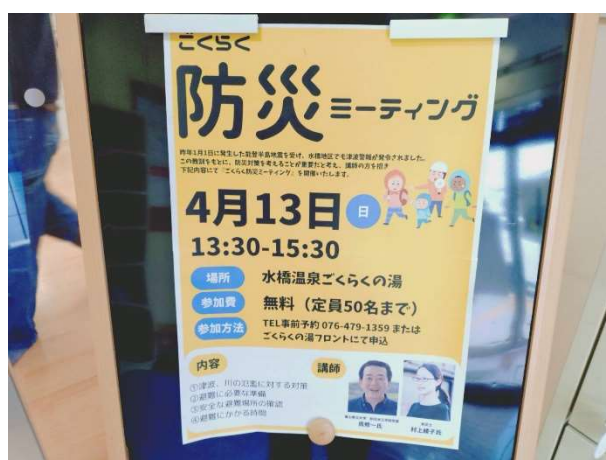


水橋温泉ごくらく湯で地区防災セミナーのサポートをさせていただきました！

2025 年 4 月 13 日および 5 月 25 日に、富山市の水橋温泉ごくらくの湯で地区防災セミナーのサポートをさせていただきました。セミナーでは、以下の題で教員および学生が話題提供させていただきました。

呉修一・沼澤蓮音：水災害に備えるために（水橋地区）



また、消防の皆様のご協力により、銭湯で入浴中に地震が発生した場合の避難訓練および消火活動訓練を実施しました。本訓練では、入浴時から屋外に避難するまでの、持ち物の持参や服装・簡易タオルをはおった避難のプロセスを確認できました。更に、避難場所まで実際に徒歩で避難を実施しました。避難が困難になる可能性のある細い路地からの避難だけではなく、広い道路を想定した避難も確認されるなど、防災街歩きの観点も取り入れられています。

地区防災セミナーでの意見交換では、どのタイミングで逃げればよいのか？や、地震時に持ち出すものは何が良いか？、地震に備えて必要な準備や対応は何か？などが、確認・議論されました。これらの議論の結論を、本地区防災セミナーの成果としてまとめると、以下のようになります。

- ・営業中の地震に冷静に対応するために、常に避難誘導・避難の手順を確認し、簡易タオルの準備などを継続して行う。
- ・津波に対して、水平避難する地区ではないが、強い揺れを感じたら即座に冷静に水平避難を開始する。今後の浸水想定区域の更新を注視する。浸水想定区域が更新されたら、もう一度防災セミナーを開催して状況を学び対策を検討する。
- ・極めて強い揺れを感じた場合は、警報が発令される前に避難を開始する。避難の途中に大津波警報が発令された場合は、避難のスピードを早め、指定緊急避難場所を目指しつつ、海岸線から離れる方向に緊急避難する。

水橋温泉ごらくの湯の皆様および参加者の皆様の自発的な地区防災活動に敬意を示すとともに、我々に、このようなサポートの機会を頂けたことに、心より感謝申し上げます。また、引き続きサポートを全力でさせていただきます。

他の地区でもこのような地区防災活動のサポートが必要な場合は、私、呉修一までいつでも遠慮なくメール（kure@pu-toyama.ac.jp ← [at](mailto:at@pu-toyama.ac.jp) を@に変更）にてご連絡ください！もちろん無料ですし、経費等の支払いも一切ありません。